

糸魚川発、熱技術と自動化技術で世界に広げる、人と地球にやさしいものづくり

「熱技術と自動化技術で人と地球にやさしいものづくりを」をテーマに、各産業分野に生産設備を提供している。加熱・焼成技術では、自動車用二次電池材料等、高機能粉体の連続熱処理に適した高温高気密ロータリーキルン、自動車部品・電線材料等の熱処理工程に用いる加熱炉、資源リサイクルに有効な過熱水蒸気を利用した脱脂洗浄設備、溶かす技術では製鉄分野に密閉型電気炉、環境面では、廃棄物熔融炉、有価金属回収用精錬炉等、国内外で設計・製作・据付・保守まで一貫して提供している。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 新潟県糸魚川市大野978 | ● 設立 | 1951年 |
| ● 電話/FAX | 025-552-1601/025-552-8041 | ● 資本金 | 6,750万円 |
| ● URL | http://tanabe-ω.co.jp/ | ● 従業員数 | 172人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 田邊 郁雄 | | |



需要獲得

ものづくり

顧客との共同開発で、高度な熱技術を生かす

同社は金属切削屑の脱脂洗浄で均一性と時間短縮にメリットのあるキルン製造等のノウハウを強みとしている。また、性質の異なる金属の影響を避ける金属コンタミ防止、シール性の向上、製品に応じた適切な内筒材質の選定などが評価されている。近年の電気自動車(EV)や家庭用蓄電池システム向け二次電池市場の拡大を受け、熱処理の難しいリチウムイオン電池原料の連続高温焼成炉を開発した。本社実験棟に実証テスト炉を設置し、顧客とともに効率的な原材料製造のための条件の構築に取り組んでいる。



粉体連続高温処理可能なロータリーキルン

世界に広がる、設備導入・管理・メンテナンス一貫サポート

同社では各種工業炉とFA設備の設計・製作・据付・アフターサービスを自社で一貫提供している。また設計・エンジニアリングのみではなく生産工場を自社に有しており、設計者と生産・工事部門が一体となって顧客ニーズに応えられる体制となっている。海外への設備輸出も約50年にわたる実績があり、社員の語学習得の支援等人材育成にも力を入れている。廃棄物から有価価値のある物質を回収する熔融技術においては、北欧系や中国系企業への納入実績があり、「環境にやさしいものづくり」を世界で展開している。



マレーシアのプラントサイト

成長を続ける「地域未来牽引企業」

同社は、部品の調達や外注等の多くを地域の協力工場へ依頼しており、地域経済の好循環に寄与している。昨年度は、これらの事業展開が認められ、「地域未来牽引企業」に選定されている。また、毎年新卒採用を積極的に行っており、地元での就職を希望する若者への雇用機会を提供している。

このほか、同社副会長が糸魚川商工会議所の副会頭を務めるなど、地域社会の発展に寄与している。



地元高校生の会社見学の様子